



40 創立：1984.7.10/証認：1984.8.6
国際ロータリー第2660地区

大阪鶴見ロータリークラブ会報

事務所：〒540-0001 大阪市中央区城見2丁目2番22号

ホテルモントレ ラ・スール大阪

電話：06-6937-8171 ファックス：06-6937-8011

例会日：毎週火曜日 12時30分/例会場：ホテルモントレ ラ・スール大阪

会長：源 壽美子/幹事：稲垣良二/SAA：須田幸史朗

電子メール：rcosatrm@cf.mbn.or.jp

ホームページ：https://rc-osaka-tsurumi.jp/



世界に希望を生み出そう

本日の例会

〈第1815回〉 2024年1月30日(火) 本年度第21回

卓話

新年夜例会

●ロータリーソング

●ランチタイムミュージック

次回の例会

2月6日(火)

次回卓話

大阪市営住宅の制度概要について

講師：鶴見区長 内田 忠憲様

担当：西野会員

前回の報告

会長インフォメーション

PRESIDENT INFORMATION

会長：源 壽美子

みなさんこんにちは。

今日からめちゃくちゃ寒くなるようで、そろそろ冬眠したい感じですが実際に人間を人工的に冬眠させる研究が筑波大学と理化学研究所で進んでいるそうです。冬眠は究極の省エネ戦略だそうで、病気の治療や老化を遅らせることができたりするそうです。人生100年時代と言われていますが、100年以上の時代が見えてきたら、早い目に一回冬眠してみたいと思います。

さて、本日はロータリーモットー(標語)についてです。

ロータリーには二つのモットー(標語)があります。

第1モットーは、「超我の奉仕」"Service Above Self"。

そして、第2モットーが、アーサー・シェルドンの言葉で知られる「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」"He Profits Most Who Serves Best" です。

この二つのモットーの日本語訳については、昔から議論がありました。特に、第1モットーの「超我の奉仕」は「超我」が造語でもあり、カッコよいが意味がよくわからない、といわれていました。日本のロータリーの創始者である米山梅吉は、これを「サービス

第一、自己第二」とか「自己に先立つサービス」と訳しました。「超我の奉仕」より原義を伝えています。第2モットーも、「最善のサービスをすれば、結果として最大の利益が得られる」とでも訳したほうがわかりやすいかもしれません。

前掲のシェルドンの論文(『ロータリーの哲学』)ではこの二つのモットーは、一体化して提示され解説されていました。

会長インフォメーション 8月、9月でお話しさせていただきましたが、ロータリーの奉仕の哲学を端的に表現している「決議23-34」記憶にございますでしょうか？

この第1条でも二つのモットーがキーワードとして並んで示されています。二つのモットーを一つの主張として捉えようと、ロータリーモットーの真意は次のようになると考えられます。

サービスを自己の利益や都合より優先させよう。利益はサービスの結果である。相手のために最善のサービスをすれば、結果として最大の金銭的な利益と、大きな精神的満足が得られる。

ここで主張されている思想こそ、「ロータリーの奉仕の理念(奉仕の理想)」の核心です。そして、注意しなければならないのは、これは決して利益を求めて奉仕するという「功利主義」的な思想ではなく、他者のために尽くすことが自らの幸せ(喜び)

(2ページに続く)

職業奉仕月間

大阪鶴見ロータリークラブテーマ 「RE START ～人との繋がりを大切に～」

(1ページより)

であるという、他者に奉仕すること自体を目的とする「利他主義」の思想だということです。利益はあくまで結果です。

「奉仕の理念」は自分にとって何を意味するか？

ロータリーの目的は、次のように言い換えることができます。

ロータリーの目的は、「奉仕の理念」を広め、その価値を高めてゆくこと。

そして、ロータリアンとは、個人生活・職業生活・社会生活等、人生のすべての面で、「奉仕の理念」の研鑽と実践を行う人である、ということができます。「奉仕の理念(奉仕の理想)」は自分にとって何を意味するか？という問いが私たちに投げかけられています。

「職業奉仕も含めて「奉仕の理念」の解釈は意図的にロータリアン各自及びロータリアンのグループに任されている。/その適用は広範で多様な状況、問題、可能性に対応して実行されなければならない/ロータリアン個人が「私」の職業を通じて「奉仕の理念」を適用するとは自分にとって何を意味するのか？という問いに自ら答えることができなくてはならない。」

とありました。皆さんはこの問いに答えられますでしょうか？



幹事報告

幹事: 稲垣 良二

先週の理事会での決定事項です。

1. 今期のIM3組RD実行委員会への出席についてはメイクアップ対象とします。自己申告にてお願いします。
2. 2/3IM4組RDへの参加登録費用4人分2万円について、交際費として処理します。
3. クリスマス例会の収支報告がなされ承認されました。来週1/30は、やまとさんにて新年夜例会です。

2/6の例会には、卓話に鶴見区長をお招きしています。例会の後、イエスシアターへ移動してIM3組RD実行委員会・理事会となりますので、ご予定下さい。

災害支援PJ委員会報告

委員長
大草 修

1月1日に発生した能登半島地震、すでに3週間以上が経過しましたが、なかなか復興が進んでいない様子で、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

さて、支援金ですが皆様の温かいお志のおかげで¥32,000-集まりましたので報告させていただきます。

ありがとうございました。

広報・IT・会報・雑誌委員会報告 「ロータリーの友」1月号記事紹介

委員 中森 恭平

・横組み13ページ

日本酒で乾杯

昔日本では日本酒を「酒々(ささ)」とも呼ばれていました。

そして酔っぱらいを「トラ」と呼んでいらしいです。

笹藪にトラはつきものであることが由来だそうです。

来週はやまとでの夜例会!

みなさん「トラ」にならないように楽しみましょう!!

😊 NIKONIKO箱 😊

¥14,000.-

累計 ¥299,000.-

稲垣 会員 新年早々欠席のお詫び
中森さんフォローありがとうございました
年末に2人目の孫が生まれました

小栗 会員 結婚記念日 プレゼントありがとうございました。
39年となりました。
本年もよろしくお願い致します。

田中(信) 会員 本日卓話です
難しい話ですが辛抱して下さい。

大阪RC 久しぶりに大草先生に御会いしましたので
春次 賢太郎

災害支援プロジェクト

ライトミール振替11月\7,500

累計: ¥1,114,039.-

出席報告

1月23日【1814回】

会員数	26名	ビジター	1名
(内出席規定免除	9名)	ゲスト	0名
出席会員	17名中 11名	出席総数	17名
出席免除会員	9名中 5名	前々回	M/U 3名
出席率	16/22 72.73%	修正出席率	12月19日 82.61%



米山功労者 第2回マルチプル感謝状 授与

クラブフォーラム 職業奉仕部門

担当: 田中 (信) 会員



ロータリーの職業奉仕 (Vocational Service) について

昨年より職業奉仕について勉強してきたことを皆さんにご報告する予定でしたが、私自身まだまだ勉強不足のため、出来るだけ資料に基づいて皆さんと共に勉強したいと思います。

まずRIの規定の変更や世界の経済環境の変化によってロータリーの職業奉仕について新しい考え方を取入れる必要があると地区の職業奉仕委員長会議で示されました。地区委員会としての統一的な見解は示されずそれぞれのロータリークラブで考えてほしいということで職業奉仕の考え方がますます難しくなってしまうことになってしまいました。どうして難しくなってきたか後ほどフォーラムで勉強したいと思います。

職業奉仕にはロータリアンの職業奉仕 (I Serve) とクラブの職業奉仕 (We Serve) の二つがあるのですが今日は時代が変化しようと思われないロータリアンの職業倫理について勉強したいと思います。

- ▶ RIの規定の変更と世界経済環境の変化について
資料別紙に示しています。

- ▶ ロータリーの理念や定款について
本年は源会長が素晴らしいレクチャーでロータリーの歴史から理念について示されています
ので今日は定款の中の赤線を引いた字句について勉強したいと思います。

- ロータリーの基本理念
- 国際ロータリー定款・ロータリークラブ定款
- ロータリークラブ定款の中の第6条五大奉仕部門

参考として：

「ロータリーの職業奉仕入門 (Q & A)」「ロータリアンの行動規範」「四つのテスト」「職業奉仕四つの反省」「人々のニーズ」をお渡しします。

職業奉仕委員会に於いて「ロータリアンの行動規範」の2)に示されている他者を尊重する言葉を使っているか確認してほしい

ということになり、日常生活・職場に於いて知らず知らず使っている「差別言葉」「ハラスメント言葉」の一例をお渡し致しますので皆さんチェックしてみてください。

- RIの規定の変更
(寄附拡大のための会員増強方針としか考えられない)
 1. クラブ裁量の幅が広がりそれぞれ独自の運営が出来る。
 2. 会員資格の拡大 → 奉仕の意思をもつ善良な市民であれば誰でも入会出来る。
職業を持たない会員がいることになる。
 3. 会員の職業分類の同業種の人数制限の廃止 → 但しバランスのとれた会員構成とする。
 4. 区域境界の廃止 → 地域社会の地域をどう設定するか。
当クラブは鶴見区を中心として周辺も含めるか。
- 世界の経済環境の変化
 1. 資本市場の拡大、変質 → M&A の拡大、企業の巨大化。産業構造の変化。
 2. AI の急速な進化 → 取り残される企業が多くなる。
 3. 一方で企業倫理の拡大 → しかし大企業の不祥事が多い。
コンプライアンス, C.S.R, PL 法, SDG s の取組, I.S.O 認証, D.D の取組

○ 字句の意味

1. ロータリーの基本理念 → ロータリーの手本となる原則
2. 意義ある事業の基礎として → 立派な尊敬すべき仕事の基礎として
3. 奉仕の理念とは → ロータリーの奉仕の哲学 (Ideal of Service)

国際ロータリーのモットー (コインの表裏) [「超我の奉仕」→ 自分よりまず他者に奉仕する
「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」
→ 実践的な倫理原則

奉仕 → サービスとは Serve の名詞形で to do something for someone
人とか地域にニーズがありそのニーズを満たしていこうとする行為

奉仕の理想 (Ideal of Service)

人とか地域社会や相対する人々のニーズを良く汲みとってそのニーズを理想的かたち (3 方よしの教えを愛と思いやりの心、助け合いの心をもって実践すること) で満たすこと

4. 職業奉仕 (Vocational Service)
自分の職業を通じて社会に奉仕し神を満足させること
5. 職業上の高い倫理基準とは
ロータリアン、事業所に於いて「奉仕の理想」を実践すること
6. 道徳的水準とは
人間のふみ行うべき正しい道の基準
7. 品位ある業務とは
ねうちがある、品格がある、良い価値がある仕事のこと



www.rotary.info

ROTARY

121万の
ボランティア会員
世界200カ国

(3Pから)

「ロータリー第3の波」について

今から18年も前の2006年10月に行われた第2580地区特別研修会に於ける佐藤千壽パストガバナー(2008年物故会員となる)の基調講演「ロータリーの第3の波」の要約文を皆さんと共に読んで今後の新しい職業奉仕の方向性を考えたいと思います。

- 会社は誰のものか→法律的に言えば日本でも出資者＝株主のものとなっているが会社は出資者、経営者、社員の三者共同体である。
- 株主資本主義経済の企業に於ける所有と経営の分断で、法律さえ犯さなければ何をしてもよいという雇われ経営者にロータリーの株主と経営が一体である
オーナー経営者を対象とした古典的職業奉仕論を説いても無力である。
- ロータリーの職業倫理を実践し人道的経営をしている企業の例は全てオーナー経営者である。
- 本来ロータリーが持っている魅力や魂が失われつつある現代、ロータリーはこれに対応する「第3の道」を考える必要がある。
- 株式市場の動向が市民の日常生活に密着している現代資本主義社会ではロータリークラブもこれに真正面から向き合った市民との対話が重要でここで株式投資の社会的責任を説くことが出来る。
- ロータリアン個人個人が事業や立場で「生活の姿勢」を正して「奉仕の理念」を実施し「普遍の道德教」として市民に広めることが、ロータリーに下された天職＝Vocationである。

○ ロータリアンの職業奉仕とは

ロータリアンは事業や立場に於いて 1989 年の「ロータリアンの職業宣言」を基にまとめられた「ロータリアンの行動規範」を守り「奉仕の理念」を実践するよう職業倫理に基づいて自らそのレベルを高めそしてその手腕を社会に役立てること。

そしてそれを確かめる手段として「四つのテスト」「四つの反省」でチェックすること

1. 真実かどうか

あなたは事業や立場の中で嘘、偽りのない「奉仕の理念」にかなった言行をしているか

2. みんなに公平か

あなたはすべての取引先や従業員やその関係ある人々に対して公明正大な言行をしているか

3. 好意と友情を深めるか

あなたは何事に於いても尊敬と信頼を高め関係ある人々に信用されより良い友人、支援者になってもらっているか

4. みんなのためになるかどうか

あなたは事業や立場で取引先や関係ある人々に有益になるかどうかを考えて言行しているか(三方よしとなるかどうか)

※ 職業奉仕 四つの反省

1. 顧客に対して:
2. 従業員に対して:
3. 競争者に対して:
4. 協力者に対して:

本日のロータリーソング

町に灯(ともしび)を

出会いの挨拶してごらん
並木さらさら葉から葉へ
人にやさしい町の風
ロータリー ロータリー
廻って 守れ 風車になって
地球がきれいな息をする

担当:濃添会員